

## (仮称) 三重松阪蓮ウィンドファーム発電所計画に反対する決議

当町に隣接する松阪市飯高地区に、風力発電所の建設計画の申請がされているとして、大台町議会に対し、町内外から4,507名分(町内2,564名・町外1,943名)の反対署名(令和3年12月8日現在)を付して、地域住民の意見を重視し、理解の得られない開発計画に反対を求める請願が提出された。

請願者は風力発電所計画に反対の理由として、次のことを指摘している。

### 1 住民への影響

本町は当計画で風力発電機設置想定範囲である松阪市飯高地区に隣接しており、また道路工事等の事業実施想定区域である。町民の健康、生活、経済、環境等に重大な影響が及ぶ可能性がある。

#### (1) 大杉谷、領内及び荻原地区の一部で騒音や超低周波音等による健康被害と生活環境への重大な影響

風力発電機設置想定区域との距離は栗谷、明豆、御棟、小滝、神滝、滝谷、唐櫃、南、大井区が直線で2.5～3.5km以内、大杉谷地区と天ヶ瀬区が4.5km以内である。2km以上離れているものの、風車1基当たりが高さ183m、最大発電量5,500kWと巨大、かつ日本最大規模である60基が設置されるという過去に類を見ない大規模計画であることから騒音、超低周波音等が届く可能性が十分にある。よって近距離にあたる地区では健康被害や生活環境への重大な影響が懸念される。

#### (2) 領内、荻原、川添と日進地区の水道水への影響

想定区域には大台町東部給水(領内と荻原地区)の水源である大熊川流域と三重県南勢志摩水道用水(川添と日進地区)の水源である蓮ダム流域が含まれる。水源かん養保安林やその周辺での森林伐採、造成により水環境の悪化が懸念される。

#### (3) 一級河川宮川の水質悪化と土砂災害誘発への懸念

崩れやすいとされている迷岳尾根周辺での大規模な造成、砂防指定地区である急峻な八知山林道周辺での道路工事及び森林伐採等により一級河川宮川へ土砂、濁水が流出し水質悪化や土砂災害誘発の可能性がある。

#### (4) 動植物及び生態系への影響

想定区域には全国的にも重要な植生自然度が高いブナやツガ林が広範囲に分布している。また希少野生動植物主要生息生育地が含まれる。動植物種と生態系への重大な影響が懸念される。

#### (5) 景観への影響

視野に入る風力発電機は最も近い迷岳では見上げる角度で圧迫感があるほど、また栗谷地区では気になるほど大きく見えると予測される。重要な観光資源である大熊三山登山道等多くの観光スポットから風車が視野に入る他、眺望に著しい妨げとなる地点がある。吉野熊野国立公園、奥伊勢宮川峡県立自然公園に指定される風光明媚な本町において景観は守るべき資源であり、風車等巨大構造物が視野に入る事態を避けるべきである。

## 2 大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークへの影響

本町は町全域が大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークの構成市町に指定登録されている。世界に誇る自然と共生する私たちの暮らしが将来にわたり持続できるよう、今以上に自然環境を保全しようと努めている。風力発電所建設はこの努力に逆行している。

## 3 二酸化炭素吸収源である森林の保護

本町と町境周辺の森林は二酸化炭素吸収源として地球温暖化防止に大きな役割を果たしている。天然の地球温暖化防止機能を阻害する風力発電所は不要である。

よって、大台町議会は、地元住民が安心して暮らせる環境を守るため、地域住民の意見を重視し、理解の得られない開発計画には反対するものである。

以上、決議する。

令和3年12月14日

大 台 町 議 会